

ふりがな 氏名	なかお ゆり <b>中尾 有里</b>	都道府県	<b>大阪府</b>	
所属/肩書	<b>NPO 法人箕面こどもの森学園 常勤スタッフ</b>			
私のESD活動	<b>地球市民として生きるための学校創りと、学びの選択肢の提供。ESD に関わる若者のプラットフォーム創り</b>			
ESD活動を表すキーワード	<b>市民</b>	<b>対話</b>	<b>子ども</b>	

**活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）**

箕面こどもの森学園は、市民として生きることを大切にする小・中学校(ユネスコスクール)です。私は現在 4～6 年生クラスのファシリテーターをしています。子どもたちは自分で自分の時間割を決めて活動し、とことん話し合って問題を解決したりルールを決めたりします。大人も学習者であり、指導者ではなく促進者・援助者という立場です。自分の興味や感性から学びが始まり、自らを学ばせていくこと。学校という共同体をつくる確かな一員であること。子どもたちはその上で環境や人権、平和について学びます。

そのテーマは学期によって変わり、「宇宙」「しょうがいって何?」「くらしに役立つエネルギーと環境」など様々です。「平和と憲法」では集団的自衛権について中立的に知り、自分はどんな意見を持つかを話しあったり、なぜ戦争がおきるのかについて調べたことを発表したりし、自分にできることを探りました。「日本を紹介しよう」は、自らの生活に客観的な目を向け、当たり前ではないことを知り、真の国際人になっていきかけにするための学びでした。最後には海外から日本にいられて日の浅い方々の所へ子ども達が出向き、お茶を点てたり、造幣技術についてプレゼンしたり、クイズをしたり思い思いの形で発表しました。また、テーマは音楽や英語などとも連動し、保護者と一緒に勉強会を実施、生活まるごとのめり込むような学びをつくります。

子どもが自分の学びを自分で決められることを前提にしたあり方を発信し、日本の教育をすこしずつ変化させること。そして多様な人生や多様な学びを保障する活動に取り組んでいます。個人としては昨年の ESD ユネスコ世界会議ユース・コンファレンスに参加しました。

・NPO 法人箕面こどもの森学園 <http://kodomonono-mori.com/>

・ESD Global Youth <http://www.esdyouth.org/>

**ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？**

現在の活動を続けることはもちろん、更に、公立や私立で働く教員の方々と一緒に ESD を探求していきたいと考えています。2015年8月には教育に携わる社会人や学生を対象に研修キャンプを主催します。それをきっかけに、現場でのチャレンジを知り、一緒にできる部分を探り、日々頑張っている教員の方々と応援したりお互いに相談できたりする仕組みをつくります。また、教育カフェ・マラソンという中学生以上対象の対話イベントを月に一度開催しています。2015年7月現在で33回を迎え、延べ1000人弱の方が参加してくださり、教育や社会、未来について対話する文化をつくり、お互いに情報交換するコミュニティに育っています。100回の開催を目指して続けていきます。また、ESD ユースの協働とプラットフォーム創りに尽力し、自ら海外への研修に出向き、ユースとしての実績に貢献したいと考えています。